

三木市・スポーツ振興基金・卓球協会の紹介 (パンフレット)

～ ご案内 ～

1. 三木市のプロフィール
2. 公益財団法人三木市スポーツ振興基金
3. 三木市卓球協会の活動

【三木市のプロフィール】

面積…176.51km² 人口…7万1,169人(2025年6月)

兵庫県南部に位置する、豊かな自然に囲まれたエリア。

三木城を中心とした城下町として栄え、歴史的な史跡が現在でも市街地に点在している。

実は三木市って・・・ 豊かな自然と伝統の街

約450年の
伝統を誇る
金物のまち

酒米の最高峰
「山田錦」の
生産量日本一!

ゴルフ場の数で
西日本No.1!

三木市は、古い歴史と自然に恵まれ、播磨国風土記には億計(おけ)、弘計(をけ)2皇子の古代ロマンの物語が記されています。また、戦国時代には、東播8郡24万石を領した別所氏の居城があり、三木合戦によって荒廃した町は、豊臣秀吉の復興策によって商工業が活発化し、今日の金物産業発展の基礎をつくりました。

また、名実ともに山田錦(酒米)の主生産地となり、三木金物ブランドとともに更に発展が期待されます。

一方、市域内を中国及び山陽自動車道が通過するなど、全国的にも交通の要衝として注目され、数多くのゴルフ場が立地するほか、「三木ホースランドパーク」、「山田錦の館」、「吉川温泉よかたん」など、観光資源も多彩です。

また、高速道路網など恵まれた交通立地を生かし、兵庫県の広域防災拠点となる「県立三木総合防災公園」や「ひょうご情報公園都市」が整備されています。



【公益財団法人三木市スポーツ振興基金のプロフィール】

法人のあらまし

1. 名 称：公益財団法人三木市スポーツ振興基金
2. 所 在 地：兵庫県三木市上の丸町10番30号 三木市教育委員会事務局 文化・スポーツ課内
3. 基本財産：2億円
4. 事業：(1)指導者の育成事業 (2)競技力向上のための事業 (3)選手派遣に対する助成事業
(4)スポーツ団体の育成事業 (5)その他目的を達成するために必要な事業

沿革

- S60年4月 1日 三木市スポーツ振興基金条例施行
S61年4月25日 ㈱岡田金属工業所より2億1千万円寄贈
S61年7月 1日 三木市スポーツ振興基金運用委員会の発足
S61年9月 7日 発足記念スポーツ講演会(プロ野球・鈴木啓示氏)
S62年3月20日 財団法人三木市スポーツ振興基金設立発起人会
S62年4月 1日 財団法人三木市スポーツ振興基金の発足
H元年8月27日 ビッグスポーツDAYスポーツ講演会(プロ野球・衣笠幸雄氏)
H3年12月 7日 設立5周年記念スポーツ講演会(プロ野球・王貞治氏)
法人シンボルマークの決定
H7年11月27日 ㈱岡田金属工業所より2千万円寄贈
H 8年12月1日 設立10周年記念スポーツ講演会(高校駅伝・渡辺公二氏)
H17年10月7日 三木市スポーツ振興基金条例廃止に伴う補助金の交付
H18年12月2日 設立20周年記念スポーツ講演会(阪神タイガースSD・星野仙一氏)
H24年2月25日 設立25周年記念スポーツ講演会(柔道日本代表監督・篠原信一氏)
H24年4月 1日 公益財団法人三木市スポーツ振興基金に移行
H28年6月 4日 設立30周年記念スポーツイベント(元プロテニス選手・松岡修造氏)
R5年 2月25日 設立35周年記念スポーツイベント(スポーツキャスター・寺川綾氏)
R6年12月15日 ジュニアベースボール教室(阪神タイガース・梅野隆太郎選手、西 純矢選手
R7年 7月27日 平野早矢香・森蘭政崇 卓球指導者講習会

【三木市卓球協会のプロフィール】

〔設立年度〕 1954(昭和29)年7月1日
〔事務局〕 三木市 山本卓弥方
〔加盟会員数〕 (市内愛好者数) 約500名
〔現役員〕
会 長 塩谷英雄
(第4代 2017(H29)年4月就任)
副会長 佐野宜規
事務局 山本卓弥 岩崎陽介
顧問 宮本敦子 武庫富美子 岩崎誠
理 事 岡田茂美 氏田俊子 吉永紀子 上田和弘
小阪啓子 田中勝彦 城田瑞恵 小西里枝
明空美希 生田善央 北井健太 永本龍也
〔名誉会長〕 故人 中嶋将雄 第3代会長
(2017(H29)年8月逝去)

三木市スポーツ協会創立70周年記念誌
2025(R7)年3月
にて沿革などをご覧下さい

三木市卓球協会の歴史 ←こちらもご覧下さい
スポーツ協会創立30周年記念誌1985(S60)年
スポーツ協会創立40周年記念誌1995(H7)年
スポーツ協会創立50周年記念誌2005(H17)年
スポーツ協会創立60周年記念誌2015(H27)年
スポーツ協会創立70周年記念誌2025(R7)年

アリーナ153人(実技受講者43+見学者110)
+34人(講師・Nittaku4+スタッフ25+基金5)
アリーナ全人数187人

平野早矢香・森蘭政崇 卓球指導者講習会 (2025年度三木市卓球ジュニア選手強化練習会)

実施要項

- 主催：公益財団法人三木市スポーツ振興基金 2025(R7)年度指導者育成事業
- 主管：三木市卓球協会
- 協賛：日本卓球株式会社(Nittaku)
- 協力：神姫SFMパートナーズ
- 後援：三木市スポーツ協会 三木市教育委員会
- 日時：2025年7月27日(日)13～16時(3時間)
- 受付：12:10～12:50(厳守)、開会式 13:00
- 会場：三木山総合公園総合体育館(兵庫県)住所：兵庫県三木市福井2474-5
- 目的：卓球の普及と卓球選手の資質向上を図り、社会体育の振興と青少年の健全育成を推進することを目的とし、上達のポイントや卓球競技の醍醐味などを伝える。【参加料無料】
- 対象：①三木市内の小中高学生(中学生中心)及び、②三木市卓球愛好者
③市内・近隣市の指導者(東播親善八市大会・協会関係者)
全て観覧形式とする。(直接指導は、市内中学生等選手限定)
- 講師：日本卓球株式会社(ニッタク・Nittaku) ニッタクアドバイザー
★平野早矢香(ひらの さやか)コーチ(ミキハウス所属)
 - ・全日本選手権5度の優勝
 - ・2012ロンドン五輪日本卓球界初のメダルとなる女子団体銀メダル獲得
 - ・テレビ解説等、各メディアで活躍中。(公財)日本卓球協会 理事★森蘭政崇(もりぞの まさたか)選手(BOBSON所属)
 - ・全日本混合ダブルス3連覇 ・2017年世界選手権ダブルス銀メダル
 - ・2022全日本男子シングルス準優勝
 - ・2025ジュニアナショナルチーム監督
- 卓球教室内容：2部構成(①直接指導+②講演会形式)
①平野コーチと森蘭選手の模範演技、巡回指導による選手への直接指導
(市内中学生等選手限定)
②平野コーチと森蘭選手による講演会(抽選会含む)

三木市卓球協会

〔設立年度〕昭和29年7月1日

〔事務局〕三木市府内町12-11 山本卓弥方

〔加盟会員数〕(市内愛好者数) 約500名

〔現役員〕会 長 塩谷 英雄 (第4代 2017(H29)年4月就任)

副 会 長 佐野 宜規

事 務 局 山本 卓弥 岩崎 陽介

顧 問 宮本 敦子 武庫富美子 岩崎 誠

理 事 岡田 茂美 氏田 俊子 吉永 紀子

上田 和弘 小阪 啓子 田中 勝彦

城田 瑞恵 小西 里枝 明空 美希

生田 善央 北井 健太 永本 龍也

〔名誉会長〕故 人 中嶋 将雄 第3代会長(2017(H29)年8月逝去)

●現在の活動状況(この10年間)

1954(昭和29)年7月1日三木市制施行の後に結成された体育協会に併せて誕生した三木市卓球協会は市制、体育協会と同じ年月を歩み、2004(H16)年に50周年、2014(H26)年で60年周年、本2024(令和6)年70周年と歴史を刻み続けており感慨もひとしおです。

この10年で最大の出来事は、前会長の中嶋将雄氏のご逝去です。2017(H29)年3月に会長職を退任されました。そして4月に半世紀に渡る三木市卓球協会会長としてのリーダーシップ発揮と卓球競技普及発展への尽力に対する功績を称え感謝状を贈呈させて頂くと共に、今後は名誉会長として後輩たちを見守って頂く事としました。

しかし、この年の8月に中嶋名誉会長はご逝去され、残された私達は茫然としてしまいました。

その後、中嶋名誉会長の思いを継承していく為、協会運営・事業をさらに発展させる事を誓いました。

そんな中、同年10月14日にオープンした「三木山総合公園総合体育館」へ各大会の会場を移しました。

2020(R2)年3月から、2022(R4)年5月の3年間は新型コロナウイルス感染拡大で、大会などの活動は停止に追い込まれました。

2020、2021年度の大会は全て中止とし、2018年に新たに加東市が加盟した、東播八市親善卓球大会の

開催市の三木は2年間も持ち越しとなる事態となりました。2022(R4)年6月から再開したのは、市民大会と、みっきいリーグ戦でした。11月にやっと、東播八市親善卓球大会を開催できた時は安堵したものです。

次に、卓球協会の選手育成事業の一環で継続した取り組みである、三木卓球クラブジュニア(小学生)及び、三木卓球クラブジュニア中学部の2024年度の活動は、小学生が毎週日曜日の午後2時間を三木市立青山公民館で行い、累計で選手



249人、指導者137人（11月現在）、中学部は毎週土曜日午後3時を三木市立福井コミュニティセンターで行い、累計で選手271人、指導者53人（11月現在）の参加となりました。

いずれも子ども達の技術向上と、努力することの大切さを伝えていこうと指導者は奮闘中です。

この10年間の中、塩谷英雄が2017年に第4代会長に就任し、取り組んだ事の1つ目は、理事が安心して活動に取り組める環境作りとして、スポーツ安全保険加入(2021(R4)年度)の推進、次世代へ活動を繋ぐために若手理事登用を2019(R1)年度から取り組み、8名の理事を登用しました。

その中でも、2020(R2)年に就任した小西里枝理事は、理学療法士として2023年9月のパーキンソン病患者さん向け冊子に、「パーキンソン病の卓球療法」に取り組む姿勢を取り上げられるという活躍をされています。

また、2023年度には、当卓球協会規約を体育協会発足時の形だけのものから、スポーツ協会規約をお手本にし、時代に沿ったものに改定しました。

次に「みっきいリーグ」は、都市部に出なくても三木で試合が出来る!と1998(H10)年4月に立ち上げてから今年度で27年目を迎えました。

延べ参加人数は、2014年度末の15,692人から、2024年9月で24,676人を突破し、年間の参加平均人数は914人となりました。2年間のコロナ中止の影響で、10年前の1,100人から下がりましたが定着し、卓球愛好者の底辺拡大に貢献できた喜びと共に、小学生時代にリーグ戦に参戦した子ども達が、2024年度全日本卓球選手権で4名もランク入りし、日本リーグでも5人が活躍している状況は大きな成果の現れと大変嬉しく、望外の喜びとなりました。



●70周年を通じた活動の振り返り

70周年の歴史を振り返ると、協会発足時の小さな大会運営から1968(S43)年役員の充実。

1977(S52)年、三木卓球クラブ発足。1980(S55)年から年4回の大会開催。1989(H1)年の三木卓球クラブジュニアの活動開始から小学生部門(バンビ、カブ、ホープス)の県大会、全国大会出場という成果を得ました。

1954(S29)年から東播地域で行う「東播七市親善卓球大会」においては、阪神淡路大震災があった1995(H7)年から1997(H9)年に掛け、三木市代表は3年連続優勝を成し遂げました。

1954(S29)年から2024(R6)年の67回開催の内、特に1995(H7)年からの三木市の入賞回数と入賞率は、一般優勝3回、準優勝11回(入賞率21%)。ベテラン優勝2回、準優勝9回(入賞率16%)となっており、親善大会ではあるが安定した戦績を残してきました。なお、本年2024年第67回大会では一般の部で準優勝を勝ち取りました。

なお、2018(H30)年に加東市が新たに加わり東播八市となりました。

1997(H9)年からは、みっきいレディースオープン、みっきいオープン大会を開催運営。1998(H10)年頃から役員手作りによる三木市卓球ジュニア選手強化練習会を行いました。1998(H10)年4月「みっきいリーグ」開始。そして、2000(H12)年4月10日「三木市卓球協会ホームページ」を兵庫県下卓球協会初、三木市体育協会内初として開設しました。



三木市卓球協会ホームページ

●将来への展望

70周年を迎えての卓球協会の活動は、小中学生への指導による育成、定着してきた「みっきいリーグ」の継続等、生涯スポーツとして明るく楽しみたいという愛好者に対して「いつでも卓球にふれあえる」機会提供に努めてきました。

今後は、市立中学校部活動の地域クラブ展開に向けた動きが加速されていくと思われることから、卓球において当協会がどのように関われるかを考えていかなければなりません。

卓球愛好者だけにとどまらず、より多くの人たちが卓球とふれあえる機会をもっと増やす活動を継続していきたいと考えています。

また、卓球協会の運営自体に関しては、理事間の作業分担、DX化による大会等業務の効率化と省力化を図っていきたいと考えます。そうすることにより、若い世代への継承がスムーズに運べるものと考えています。

そして、より沢山の人が卓球を楽しめるよう、卓球の街「三木」を目指して取り組んでいきたいと考えています。

●●● 次世代への恩送り ●●●

初代会長 山本角治氏(1954(S29)年)、第2代会長 衣川堯之氏(1961(S36)年)、第3代会長 中嶋将雄氏(1962(S37)年推定～2017(H29)年3月)の先人達の思いを受けて、第4代会長を受けた私には、何が出来るのかと自問した結果、卓球競技の普及と発展を次世代へ繋ぐ、受けた恩を返すのではなく、受けた恩を次へ送っていく事だと・・・。

蛇足、記念誌の執筆は、これで三度となりました。80周年記念誌は次世代で!との思いで、この度、卓球協会の沿革をまとめています。

文:塩谷英雄

●● 坂村真民 詩 二編 ●●

●つみかさね

一球一球のつみかさね 一打一打のつみかさね

一步一步のつみかさね 一坐一坐のつみかさね
一作一作のつみかさね 一念一念のつみかさね
つみかさねの上に 咲く花 つみかさねの果てに
熟する実 それは美しく 尊く 真の光を放つ

●一本の道を

木や草と人間と どこがちがうだろうか
みんな同じなのだ いっしょうけんめいに
生きようとしているのを見ると ときにははかれ
らが 人間よりも偉いとさえ思われる
かれらは時がくれば 花を咲かせ 実をみのらせ
自分を完成させる それにくらべ人間は 何一つ
しないで終わるものもいる

木に学べ 草に習えと

～ 詩の言葉で 次世代へ送ります ～

★2024年のトピックス



卓球ジュニア選手強化練習会 2024.7.28 (日)



第38回三木市少年スポーツ大会 2024.11.17



第67回東播八市親善卓球大会 一般選手 2024.11.24 (日)



三木市スポーツ協会70周年記念第96回三木市民卓球大会 2024.6.9

三木市卓球協会の沿革【1954 (S29) 年～ 2024 (R6) 年】

西暦	年号	三木市卓球協会 (三木市スポーツ協会・スポーツ振興基金関連)	スポーツ 協会 周年	東播親善卓球大会		
		トピックス(出来事)		回数	開催市	三木市の戦績とトピックス
2024	R6年	三木市スポーツ協会 70 周年 2024.10.14 記念式典 講演：広澤克実 同70周年功労者表彰 3 名：氏田俊子(21年)、吉永紀子(21年)、上田和弘(19年) 三木市市政功労者表彰(教育文化功労)：塩谷英雄(市スポーツ協会推薦) 2024.7.7 式典	70	67	加東市	一般準優勝
2023	R5年		69	66	小野市	ベテラン準優勝
2022	R4年	第65回東播八市親善卓球大会in三木 男女混合団体戦(一般・ベテラン)参加人数115名 来賓 三木市長 仲田一彦様、県会議員兼三木市スポーツ協会会長 村岡真夕子様、 三木市教育長 大北由美様 5月31日 三木市体育協会を三木市スポーツ協会に名称変更	68	65	三木市	
2021	R3年		67	延期	三木市	新型コロナウイルス拡大により延期
2020	R2年		66	延期	三木市	新型コロナウイルス拡大により延期
2019	R1年	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：岡田茂美	65	64	明石市	
2018	H30	山本卓弥事務局長就任	64	63	加古川市	加東市加盟により東播八市となる
2017	H29	3月 第3代会長中嶋将雄様 会長退任(約56年) 4月 名誉会長(新設)就任 塩谷英雄 第4代会長就任 佐野宣規副会長就任 8月 中嶋将雄 第3代会長逝去 85歳 10月14日三木山総合公園総合体育館オープン	63	62	高砂市	一般準優勝
2016	H28	公益財団法人三木市スポーツ振興基金30周年(H28.4月) 三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：宮本敦子	62	61	加西市	一般、ベテラン共に準優勝
2015	H27	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：大田美奈 団体：三木中学校女子卓球部、自由が丘中学校女子卓球部	61	60	西脇市	ベテラン準優勝
2014	H26	三木市体育協会60周年 2014.10.13 記念式典 台風にて中止 同60周年功労者表彰2名：佐野宣規(24年)、岡田茂美(15年) 三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)団体：三木中学校女子卓球部	60	59	小野市	一般準優勝
2013	H25	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)団体：三木中学校女子卓球部	59	58	三木市	
2012	H24	公益財団法人三木市スポーツ振興基金(H24.4月公益財団に移行) 三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：岡田茂美 団体：吉川中学校卓球部	58	57	明石市	一般準優勝、ベテラン優勝
2011	H23	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：宮本敦子	57	56	加古川市	一般、ベテラン共に準優勝
2010	H22	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：宮本敦子	56	55	高砂市	一般、ベテラン共に準優勝
2009	H21	中嶋将雄会長、塩谷英雄副会長、岩崎誠事務局長 三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)2名：明空美希、吉田有希	55	54	加西市	一般準優勝
2008	H20	塩谷英雄副会長・三木市体育協会理事就任、岩崎誠事務局長就任	54	53	西脇市	一般、ベテラン共に準優勝
2007	H19	中嶋将雄会長、澤田勝事務局長、(副会長空席) 三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：吉岡理恵	53	52	小野市	一般準優勝
2006	H18	中嶋将雄会長、森田博則副会長、澤田勝事務局長 財団法人三木市スポーツ振興基金20周年(H18.4月)	52	51	三木市	一般準優勝、ベテラン優勝
2004	H16	三木市体育協会50周年 2004.10.11 記念式典 講演：坂田信弘(坂田塾長) 同50周年功労者表彰2名：岩崎誠(25年)、塩谷英雄(16年)	50	49	加古川市	ベテラン準優勝
2003	H15	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：坂口あかり	49	48	高砂市	
2001	H13		47	46	西脇市	中学生の部準優勝
2000	H12	4月 三木市卓球協会ホームページを兵庫県下卓球協会初、三木市体育協会内初として開設	46	45	小野市	ベテラン準優勝
1998	H10	4月 みっきいリーグ開始 三木市卓球ジュニア選手強化練習会を新設(役員手作り)	44	43	明石市	
1997	H9	みっきいレディースオープン、みっきいオープン大会を新設	43	42	加古川市	三木市優勝V3
1996	H8	財団法人三木市スポーツ振興基金10周年(H8.4月)	42	41	高砂市	三木市優勝V2
1995	H7	1月17日:阪神淡路大震災	41	40	加西市	三木市優勝
1994	H6	三木市体育協会40周年 1994.10.10 記念式典 講演：尾車親方 同40周年体育功労者表彰3名：森田博則、平上文洋、武庫富美子 三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：岩崎陽介	40	39	西脇市	
1993	H5	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)3名：岡室智行、岩崎陽介、武庫有子	39	38	小野市	
1992	H4	兵庫県体育協会功労者表彰：中嶋将雄 三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)2名：佐野宣規、藤枝進治郎 団体:三木東高卓球部女子	38	37	三木市	
1991	H3	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)2名：岡田富美、山本卓弥 団体:三木東高卓球部女子	37	36	明石市	
1990	H2	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)2名：山本卓弥、川野勇人	36	35	加古川市	
1989	H1	三木市体育協会35周年 35周年体育功労者表彰3名：木下安男、宮本敦子、澤田勝 三木卓球クラブジュニア活動開始	25	34	高砂市	
1987	S62	財団法人三木市スポーツ振興基金発足(S62.4月) 初代理事就任：中嶋将雄 三木市スポーツ賞(1968(S43)制定)(卓球)：武庫有子	33	32	西脇市	
1984	S59	三木市体育協会30周年	30	29	明石市	
1979	S54	三木市制記念25周年大会功労者表彰：中嶋将雄	25	24	小野市	
1977	S52	三木卓球クラブ発足	23	22	明石市	
1974	S49	三木市体育協会20周年	20	19	加西市	
1967	S42		13	12	加西市	加西市加盟により東播七市となる
1964	S39	三木市体育協会10周年	10	9	三木市	
1962	S37	第3代会長 中嶋将雄 1962(S37)年推定～2017(H29)年3月	8	7	加古川市	
1961	S36	第2代会長 衣川堯之(三木市役所) 1961(S36)年推定～1962(S37)年推定	7	6	高砂市	
1956	S31		1	1	高砂市	東播六市親善卓球大会 第1回開催
1954	S29	1954(昭和29)年7月1日 三木市発足 同7月 三木市体育協会発足、三木市卓球協会発足 初代会長：山本角治(山本呉服店)	0	0	高砂市	東播六市親善卓球準備大会を 高砂市で開催

中嶋将雄杯 第46回三木市民卓球ランキング戦 参加の皆様へ ご挨拶

2025年2月9日
三木市卓球協会
会長 塩谷英雄

皆様、ランキング戦にご参加頂きありがとうございます。
当卓球協会を代表してお礼申し上げます。

◆本ランキング戦の歴史

第1回は1980(昭和55)年から年1回開催しており、コロナ過での中止3回を含めて今年で46回となります。

なお、第1回大会の男子シングルス優勝は当時22歳の私でした。
この大会は、2018年第39回から、2017(平成29)年8月に永眠された、前名誉会長「中嶋将雄」様の功績を称え、お名前を頂くこととした冠大会です。

中嶋様は、50年を超え半世紀に渡り当卓球協会会長として、卓球競技の普及発展へご尽力を頂きました。

また、三木市体育協会副会長としてもリーダーシップを発揮されました。
私達役員は中嶋前名誉会長が残された財産である卓球の普及発展という「こころざし」を受け、これからも卓球の普及に「恩送り」していきます。

中嶋前名誉会長から受けた「恩」を次の世代へ送ることが、私たちに課せられた使命と感じます。

本日は151人(シングルス男子60人、女子25人、ダブルス男子19チーム38人、女子12チーム24人。小学生の部男子4人)のご参加を頂きました、感謝申し上げます。

◆最近のトピックス(三木の街から、世界へ躍進！)

先日の2025年全日本卓球選手権にて、当協会主催の“みっきいリーグ”参加者からランク入り4名、出場選手は累計で32名です。

男子シングルス4位の谷垣佑真選手、同6位の曾根翔選手、女子シングルス13位の三村優果選手、ジュニア男子シングルス4位の谷本拓海選手。また、兄弟がリーグに参加されていた選手は2名です。

参加者全員で運営する大会「街に出かけなくても三木でリーグ戦を！」と1998年に立ち上げた“みっきいリーグ”を経験した小さかった子供達が、立派な選手として、日本、世界へ躍進する姿を見るのは大変嬉しいです。

◆本日の健闘を祈ります

本日は皆さんも優勝を狙って思う存分、力を発揮して下さい。

戦いと共に、お互いの親善、友好を深めて下さい。

～ 最後に、大いに楽しく、そして戦って下さい ～
ご健闘をお祈り！ ご挨拶とさせていただきます。

天皇杯・皇后杯 2025年全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）ランキング

2025年1月21日－26日（於：東京体育館）

全農杯 2025年全日本卓球選手権大会（ダブルスの部）ランキング

9人出場、家族関係者1人、ランク入り2人

2025年1月30日－2月2日（於：スカイホール豊田）

【男子シングルス】				
1	松島 輝空	（木下グループ）	・	神奈川
2	篠塚 大登	（愛知工業大学）	・	愛知
3	張本 智和	（智和企画）	・	宮城
4	谷垣 佑真	（愛知工業大学）	・	愛知
5	宇田 幸矢	（協和キリン㈱）	・	東京
6	曾根 翔	（T.T彩たま）	・	埼玉
7	岡野 俊介	（朝日大学）	・	岐阜
8	田中 佑汰	（個人）	・	佐賀
9	松下 大星	（医療法人クローバーコーポレーション）	・	大阪
10	村松 雄斗	（霧島整形外科病院）	・	鹿児島
11	濱田 一輝	（早稲田大学）	・	東京
12	吉村 真晴	（SCOグループ）	・	東京
13	神 巧也	（ファースト）	・	千葉
14	有延 大夢	（T.T彩たま）	・	佐賀
15	龍崎 東夷	（ケラッツ・テクノロジーズ）	・	東京
16	松平 賢二	（協和キリン㈱）	・	東京

6人出場 【女子シングルス】					ランク入り1人、 家族関係者ランク入り1人
1	早田 ひな	（日本生命）	・	福岡	
2	張本 美和	（木下グループ）	・	神奈川	
3	大藤 沙月	（ミキハウス）	・	大阪	
4	伊藤 美誠	（スターツ）	・	大阪	
5	平野 美宇	（木下グループ）	・	神奈川	
6	山崎 唯愛	（サンリツ）	・	東京	
7	井 絢乃	（中国電力ライシス）	・	広島	
8	芝田 沙季	（ミキハウス）	・	大阪	
9	横井 咲桜	（ミキハウス）	・	大阪	
10	木原 美悠	（木下グループ）	・	神奈川	
11	牛嶋 星羅	（サンリツ）	・	東京	
12	長崎 美柚	（木下グループ）	・	神奈川	
13	三村 優果	（サンリツ）	・	東京	
14	田村 美佳	（十六フィナンシャルグループ）	・	岐阜	
15	佐藤 瞳	（ミキハウス）	・	大阪	
16	安藤 みなみ	（トップおとめピンボンス名古屋）	・	愛知	

【男子ダブルス】 5人出場				
1	飯村 悠太	（明治大学）	・	東京
	木方 圭介	（明治大学）	・	東京
2	岩井田 駿斗	（野田学園中学校）	・	山口
	中野 琥珀	（野田学園中学校）	・	山口
3	小林 広夢	（日本大学）	・	東京
	伊藤 礼博	（日本大学）	・	東京
4	西 康洋	（日野キングフィッシャーズ）	・	東京
	川上 尚也	（日野キングフィッシャーズ）	・	東京
5	鈴木 颯	（愛知工業大学）	・	愛知
	萩原 啓至	（愛知工業大学）	・	愛知
6	郡山 北斗	（リコー）	・	東京
	小野寺 翔平	（リコー）	・	東京
7	上村 慶哉	（シチズン時計株式会社）	・	東京
	三部 航平	（シチズン時計株式会社）	・	東京
8	藤村 友也	（日鉄物流プレイザーズ）	・	和歌山
	高見 真己	（日鉄物流プレイザーズ）	・	和歌山

【女子ダブルス】 2人出場				
1	麻生 麗名	（日本生命）	・	佐賀
	笹尾 明日香	（日本生命）	・	佐賀
2	梅村 優香	（サンリツ）	・	東京
	塩見 真希	（サンリツ）	・	東京
3	伊藤 詩菜	（四天王寺高校）	・	大阪
	青木 咲智	（四天王寺高校）	・	大阪
4	木村 光歩	（中国電力ライシス）	・	広島
	枝廣 瞳	（中国電力ライシス）	・	広島
5	平 真由香	（レゾナック）	・	茨城
	矢島 采愛	（レゾナック）	・	茨城
6	木塚 陽菜	（神戸松蔭女子学院大学）	・	兵庫
	鶴岡 美菜	（神戸松蔭女子学院大学）	・	兵庫
7	野村 萌	（㈱デンソー）	・	静岡
	野村 光	（㈱デンソー）	・	静岡
8	面手 凛	（山陽学園高校）	・	岡山
	樋口 美空	（山陽学園高校）	・	岡山

3人出場 【混合ダブルス】（内1人Best16）				
1	木造 勇人	（関西卓球アカデミー）	・	埼玉
	安藤 みなみ	（トップおとめピンボンス名古屋）	・	愛知
2	小野寺 翔平	（リコー）	・	東京
	枝廣 愛	（中央大学）	・	東京
3	岡野 俊介	（朝日大学）	・	岐阜
	田村 美佳	（十六フィナンシャルグループ）	・	岐阜
4	渡部 民人	（JOCエリートアカデミー／星槎）	・	東京
	小塩 悠菜	（JOCエリートアカデミー／星槎）	・	東京
5	小林 広夢	（日本大学）	・	東京
	出澤 杏佳	（専修大学）	・	東京
6	馬渡 元樹	（信号器材㈱）	・	神奈川
	武山 華子	（中央大学）	・	神奈川
7	中村 煌和	（愛知工業大学）	・	愛知
	藤田 知子	（愛知工業大学）	・	愛知
8	岡本 翼	（木下卓球アカデミー）	・	神奈川
	高橋 青葉	（木下卓球アカデミー）	・	神奈川

2人出場 【ジュニア男子】 ランク入り1人				
1	吉山 和希	（岡山リベッツ）	・	埼玉
2	川上 流星	（木下卓球アカデミー）	・	神奈川
3	岩井田 駿斗	（野田学園中学校）	・	山口
4	谷本 拓海	（育英高校）	・	兵庫
5	岡本 翼	（木下卓球アカデミー）	・	神奈川
6	岸本 漣斗	（関西高校）	・	岡山
7	吉田 蒼	（上越市立直江津東中学校）	・	新潟
8	北村 悠貴	（白子高校）	・	三重

1人出場 【ジュニア女子】				
1	張本 美和	（木下グループ）	・	神奈川
2	面手 凛	（山陽学園高校）	・	岡山
3	山室 早矢	（桜丘高等学校）	・	愛知
4	小塩 悠菜	（JOCエリートアカデミー／星槎）	・	東京
5	高森 愛央	（四天王寺高校）	・	大阪
6	渡邊 心葉	（明德義塾中・高校）	・	高知
7	松島 美空	（京都カガヤライズ）	・	京都
8	青木 咲智	（四天王寺高校）	・	大阪